

# 島根県における院内がん登録を利用した AYA世代のがん患者等及びその家族の実態調査

P2-4

竹谷健<sup>1</sup>、中林愛恵<sup>2</sup>

<sup>1</sup>島根大学医学部小児科、<sup>2</sup>島根大学医学部附属病院医療サービス課がん登録室



背景	目的
<ul style="list-style-type: none"> <li>島根県が策定する第3期島根県がん対策推進計画では、「患者とその家族の治療や療養生活の悩みが軽減すること」を目指し、がん患者のライフステージに着目した支援を実施することとしている。</li> <li>島根県では、AYA世代の患者さんへの効果的な支援を検討するために、2018年度に「島根県における思春期と若年成人のがん患者さんご家族の実態調査」を実施し、AYA世代のがん患者さんやその家族の生活状況やがん治療を受療する上での困りごと等を把握した上で、様々な施策を検討、実施している。</li> </ul>	<p>島根県内の若年成人（AYA）世代のがん患者さんとそのご家族を対象に、AYA世代のがん患者さんの実態を把握し、今後のAYA世代の医療に係る施策を検討する。</p>
対象	方法
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 診断日：2020年1月1日～2021年12月31日</li> <li>② 症例区分：20自施設診断・自施設治療開始及び、30他施設診断・自施設治療開始</li> <li>③ 診断時住所：島根県</li> <li>④ 診断時年齢：15歳から39歳</li> <li>⑤ 生存している</li> <li>⑥ 病名告知を受けている</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>島根県のがん対策事業として実施</li> <li>7つの事業協力病院 松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院、浜田医療センター、益田赤十字病院</li> <li>院内がん登録から調査対象者を抽出し、調査票を各病院から郵送し、回答は匿名でWeb上で行った（調査期間：2022年9月21日～2023年2月28日）。</li> </ul> <p>島根大学医学部医学研究倫理委員会（20220823-3）の承認を得ている。</p>

## 回答結果：74名/221名（33.5%）



## まとめと考察

1. 就学および就労への支援
  - 高校生に対するオンライン教育
  - 合理的配慮の義務化
  - さんぽセンターとの連携
2. がん患者さんの子供への支援
  - CLIBM  
がんの親をもつ子どものためのサポートグループプログラム
3. 妊孕性の啓発
  - 島根県がん生殖ネットワーク
4. 療養関係
  - 介護保険にかかわる経済的支援制度
5. 情報収集
  - EBMに基づいたSNSの活用
6. 不安・悩み：AYA世代の悩み・不安に寄り添った支援体制の充実

	不安・悩みの頻度								
	診断	治療方針	セカンドオピニオン	副作用	後遺症合併症	容姿	再発転移	がんの遺伝	学業就労
治療前	+++	+++	+	+++	++	++	+++	++	++
治療中	+++	++	+	+++	+	++	+++	++	++
治療後	+++	+	+	++	+	++	+++	++	++

  

	不安・悩みの内容			
	人間関係	お金	子育て	将来
	主治医、親、配偶者	治療費、生活費	子どもに関することすべて	親、配偶者、子ども > 自分